

令和8年度 胆振管内
教育推進の重点

【推進テーマ】多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにする学校づくり～現行学習指導要領の確実な実現～

- 1 児童生徒の資質・能力の向上 2 安心して学べる環境の確立 3 生活・学習習慣の確立
- 4 地域との連携・協働 5 教職員の資質・能力の向上 6 働き方改革の推進

令和8年度 苫小牧市
学校教育推進の重点

【推進テーマ】小中学校9年間の確かな成長を目指して ～生きてはたらく力を身に付けた15歳の苫小牧っ子～

- 1 児童生徒の資質・能力の向上 2 豊かな心の育成 3 安心して学べる学習環境の確立
- 4 自律を促す基本的習慣の確立 5 学校と地域の連携・協働の推進 6 質の高い教職員集団の形成

令和8年度苫小牧市立苫小牧東中学校 教育推進の最重点

「なりたい自分」を実現～「強み」に磨きをかけ、互いを尊重、響き合う学校風土の醸成～

目指す15歳の生徒像 気づき、考え、主体的に学ぶことができる15歳

- 自ら学び考え、正しく判断し、行動する生徒 ●自他のよさを認め、互いに支え合う生徒 ●心身を鍛え、粘り強く最後までやり抜く生徒

基本方針
達成の3要素

誰一人取り残さない

失敗してもだいじょうぶ

安心できる居場所づくり

学びの継続、考えよう・やってみよう、一人じゃない

その子にとっての学びを継続

不登校問題解消・安心して学べる環境づくり

- ・生徒、保護者の困り感を感じ、ともに考える姿勢
- ・「学びを止めない」を最優先に、生徒・学校ともに「できること」をスピード感ある対応
- ・通常学級、通級指導教室、校内教育支援センター、そして苫小牧市教育支援センター等、自立に向けたその子に応じた学びを繋ぐ

◎SSWを交えた生徒指導対策委員会の定期開催

◆組織的な対応及び具体的手立て100%

その子の自立に必要な学力の定着

好きを「育み」、得意を伸ばす授業づくり

- ・指導の個別化、学習の個性化、「学び方」を教える授業へ変換
- ・ICTの効果的な利活用
- ・教師の言葉の精選(説明・指示)から生徒の活動時間の確保

◎授業での教師の言葉10%カット

◎新たな気付きからの「授業改善」

◆年間1回以上の他校・他校種の授業見学

その子の強みを認め、磨きをかける

生徒理解・特別別支援教育の充実

- ・「SOS」「困っています」と言える人間関係の構築、一人の生徒にチームとしての対応
- ・ユニバーサルデザインの視点による生徒理解、授業づくり、学級づくり
- ・子どもたち一人一人の「良さ」や「違い」を認められる学校風土の構築及び教職員のスキルアップ

◎特別支援教育に関わる研修会の開催

◆組織的な対応及び具体的手立て100%

学校種間連携; 12年間を見据えた意図的・計画的な指導及び授業改善～校区内上級学校

重点達成への鍵

【焦点化】

実態や実情等に踏まえて新たな「今できそうなこと」の焦点化
できない理由を探さない

【イメージ化】

いつまで・だれが・効率よく(相性)働きかけるか等の「仕かけ」のイメージ化

【協働化】

信頼関係を基盤とした学校・家庭・地域の役割連携の強化(情報共有)

【徹底・検証・継続】

うまくいっていれば継続、いかなければ次の方策、または止める勇氣・耐える覚悟